

科目名	公衆衛生学 1							年度	2024
英語科目名	Hygiene and Examination 1							学期	後期
学科・学年	鍼灸科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	奥山夕記子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 衛生学は予防医学の一環であることを知り、それにかかわる生活環境の改善を考える や公衆衛生の仕組みを理解する 取り組み知識をつける <div style="text-align: right;">社会における予防医学 環境問題を身近に感じ、未来に向けて</div>									
【科目の概要】 公衆衛生学は「健康であるため」「病気になるらないため」の予防医学を学ぶ。社会の中の組織的な取り組みによって行うのが、公衆衛生学であるが、個人のための衛生学も重要である。 病気の治療以上に重要であることを理解してもらう。 <div style="text-align: right;">鍼灸師にとっては、予防医学（衛生学）が</div>									
【到達目標】 A. 衛生学の意義を理解し、行政や国際機関までが行う予防医学を理解している。 事摂取基準、食中毒など食事に関する予防医学を理解している。 び、空気や水など身近な環境汚染を理化学している。 いて理解している。 <div style="text-align: right;">B. 食品衛生を学び、食 C. 日常生活環境を学 D. 過去の公害問題と現状の環境汚染につ</div>									
【授業の注意点】 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 分以上遅れた場合、受講できるが出席の扱いをしない。 <div style="text-align: right;">受講時間に無連絡で20 課題は本科の規則に従った形式で提出す</div>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	衛生学の意義を理解し、身近な場所から国際機関までが行う取り組みを理解している	WHOや予防医学、衛生行政、それぞれの重要項目は理解できている	健康の定義、予防医学、保健所の役割は理解している	衛生学の意義は理解しているが、必要な項目がわからない	衛生学の意義や目的を理解していない				
到達目標 B	食事摂取基準、食中毒、食品添加物など食事と健康の関連を深く結びつけられる	食品添加物や食中毒について重要事項を理解している	食中毒の原因と特徴を理解している	食事と疾病の予防に関する理解がある	食事と健康の関連がわからない				
到達目標 C	大気の組成や異常物質、上下水道の仕組み、水質汚濁物質について理解している	大気汚染物質と水質汚濁物質を挙げて説明できる	環境基準で検出されない汚染物質を挙げられる	水や空気など身近な環境の汚染に関して興味がある	環境問題が自分と関係があると感じられない				
到達目標 D	どのような環境問題があるのか、過去から現在、未来への予測も含めて理解している	環境問題の原因を理解して対策を考えることができる	環境問題の事例と原因を理解している	環境問題と人体への影響の認識が不足している	環境問題を他人ごとにか考えられない				
到達目標 E									
【教科書】 衛生学・公衆衛生学 東洋療法学校協会編 医歯薬出版									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験で100%評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		公衆衛生学 1			年度	2024
英語表記		Hygiene and Examination 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	衛生学の基礎知識	病気の予防は誰が行うのか？	衛生学とは	衛生学が予防医学の一環であることを理解している	3	
			病気の予防は誰が？	個人から国際社会までの予防医学の仕組みを理解している		
			WHO憲章	WHO健康の定義を言える		
2	WHOの保健活動	グローバルな予防医学を知る	WHOの活動	WHOの仕組みを理解している	3	
			プライマリヘルスケア	プライマリヘルスケアとは何か理解している		
			ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーションとは何か理解している		
3	衛生学における予防とは	第1次予防から第3次予防まで	疾病の自然史	疾病の自然史の仕組みを理解している	3	
			衛生学における予防	衛生学による病気予防の考え方を理解している		
			第1予防～第3次予防	3段階の予防を例を挙げて説明できる		
4	健康増進法と行政機関	健康増進法 保健所 市町村保健センターとは？	健康増進法とは	健康増進法の内容を理解できる	3	
			保健所の役割	保健所の設置基準と役割を理解している		
			市町村保健センターの役割	市町村保健センターの役割を理解している		
5	食品衛生 食事摂取基準	食事摂取基準とは	生活習慣病と食事	食生活と生活習慣病の関わりを理解している	3	
			食事摂取基準とは	食事摂取基準が何か理解している		
			推定エネルギー必要量とは	推定エネルギー必要量を計算できる		
6	食中毒1 自然毒性和化学物質性食中毒	食中毒を分類する	食中毒の統計	食中毒の発生状況を把握できている	3	
			自然毒性食中毒	自然毒性食中毒の原因食材を理解している		
			化学物質性食中毒	化学物質性食中毒の被害例を挙げられる		
7	食中毒2 細菌・ウイルス性食中毒	細菌性食中毒の種類	原因食品	細菌名と原因となる食材を理解している	3	
			菌の特徴	食中毒を起こす細菌の特徴を理解している		
			症状と予防対策	食中毒の症状や予防対策法を理解している		
8	食品衛生 食品添加物	食品添加物とは？	食品表示法	食品表示法の意味を理解している	3	
			食品添加物の役割	なぜ食品添加物を使うのか理解している		
			日本の添加物の規定	食品衛生法による安全性について理解している		
9	環境衛生 空気	空気（気候）について確認する	大気の組成	大気の組成となる物質を理解している	3	
			気温・気湿・気流	気温・気湿・気流が及ぼす影響を理解している		
			呼気と吸気との関係	呼気・吸気に含まれる気体の割合を理解している		
10	環境衛生 大気汚染物質	大気汚染物質の分類ができる	環境基準のある汚染物質	11種の大気汚染物質を理解している	3	
			大気汚染物質の分類	SOxやNOxなど主な大気汚染物質の特徴を理解している		
			人体への影響	大気汚染物質が及ぼす人体への影響と被害を理解している		
11	環境衛生 上水道 下水道	上水道と下水道の仕組みを知る	上水道の仕組み	上水道の浄水法を理解している	3	
			下水道の仕組み	下水道の種類と仕組みを理解している		
			飲料水の水質基準	飲料水の水質基準の項目を理解している		
12	環境衛生 水質汚濁	水質汚濁物質と健康被害を知る	水俣病について	水俣病の原因と経緯を理解している	3	
			イタイイタイ病	イタイイタイ病の原因と経緯を理解している		
			生物内濃縮	生体内蓄積と生物濃縮を理解できている		
13	環境衛生 典型7公害	典型7公害とは	7つの公害	典型7公害名をすべて言える	3	
			各公害の特徴	それぞれの公害が及ぼす影響を理解している		
			放射線障害	放射線の影響を受けやすい組織を理解している		
14	環境衛生 地球規模の環境問題	地球規模の環境汚染とは？	地球温暖化	温室効果ガスとそれに対する取り組みを理解している	3	
			海洋汚染	海洋汚染の原因を挙げることができる		
			森林の減少	森林の減少による影響を理解している		
15	環境衛生 廃棄物	廃棄物の処理について	廃棄物の種類	廃棄物の種類と処理責任がどこか理解できている	3	
			特別管理廃棄物	特別管理廃棄物とは何か理解している		
			廃棄物による海洋汚染	海洋不法投棄の廃棄物による影響を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等